

目次 Contents

- | | | | |
|----|---------------------|----|------------------|
| 3 | 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種 | 17 | 地域おこし協力隊通信 |
| 4 | 男女共同参画週間 | 18 | 保健便り |
| 5 | いちご一会とちぎ国体 | 21 | 国民年金だより |
| 6 | まちの話題 | 22 | 図書館だより |
| 8 | 市民活動補助事業を決定しました | 24 | くらしの情報 |
| 10 | 令和2年度の財政状況 | 38 | 6月のカレンダー |
| 12 | 障がい福祉瓦版 | 39 | キプロス通信 |
| 13 | 環境トピックス | 40 | イベントカレンダー |
| 14 | レッツスポーツ | | ※しもつけ健康マイレージポイント |
| 16 | 新・下野市風土記 | | |
- ※掲載写真の一部は、撮影時のみマスクをはずしています。

今月の表紙

キプロスの味覚を給食で

今月の表紙は、市内の小中学校の給食でキプロス風のメニューが提供されたときの様子です。下野市が、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会でキプロス共和国選手団の事前キャンプ地となっていることから実施されました。

この写真は4月に実施されたときのものです。メニューは、海老とチーズを使ったキプロス風サラダ。海の幸とハルミチーズが有名なキプロスに

ちなんで考案されました。

給食の時間に、生徒たちがキプロスについて調べた成果を発表するなど、キプロス共和国への理解をおいしく深めることができたようです。

キプロス料理については、39ページのキプロス通信で詳しく取り上げています。大人の皆さんも、この機会にキプロスの味覚を味わってみてはいかがでしょうか？

今月の何の日

6月18日 海外移住の日

1908（明治41）年のこの日、日本からの移住者781名を乗せた移民船「笠戸丸」が、ブラジルに到着したことを記念して制定されました。

日本からの最初の海外移民とされるのは、1868（明治元）年にハワイに旅立った153名の「元年者」と呼ばれる人々です。彼らは、江戸幕府が結んだ契約に基づき、明治新政府からの承認は得ないまま、非合法にハワイへ向かいました。1885年からは政府公認の移民が開始され、総計約22万人の日本人がハワイに移住。1920（大正9）年には、ハワイの人口の約40%を日系人が占めるまでになりました。

他にも、南北アメリカ大陸や太平洋の諸国に、多くの日本人が渡りました。2つの世界大戦の前後の日本では人口の増加が著しく、政府は、耕地

や雇用の不足を移民によって緩和しようと、好待遇や高賃金を謳って移民を募ったのです。

しかし、移民たちの多くは、宣伝文句とは大違いの厳しい環境での生活を強いられました。笠戸丸でブラジルにたどり着いた移民たちも、コーヒー農園に送り込まれましたが、待遇や賃金の悪さから、帰国を申し出る者や脱走者が多発しました。

残った移民たちの生活は、作業に慣れていくとともに、次第に安定していきました。やがて、多くの日本人移民たちが自営農として独立し、1919年には初の日系農業組合ができるまでになりました。

この日は、ブラジルでも「日本人移民の日」として記念されています。日本人移民がブラジルで刻んできた足跡をうかがうことができる記念日です。

■人口と世帯（5月1日現在）

人口／60,201人（+148）、男性／29,929人（+55）、女性／30,272人（+93）、世帯数／24,925世帯（+198）

